

登録コード	L1730200	開講年度	2026				
担当教員	山本 英二			副担当			
授業科目	日本史特論Ⅱ						
英文授業名	Lecture of Japanese History Ⅱ						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生		講義期間	後期	曜日・時限	水曜・2時限
講義室	人文第4講義室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】		
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以前カリ対象】自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力			⇔	・通説とされる歴史的事実について、批判的に考察する能力を養う。 ・史料の読解能力を獲得する。		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降カリ対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			⇔	・通説とされる歴史的事実について、批判的に考察する能力を養う。 ・史料の読解能力を獲得する。		
授業で学べる「テーマ」	その他						
全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース						
授業の概要	この授業では、徳川幕府260年間・15代の将軍を紹介しながら、近世の政治と社会について考えていきます。今回は8代徳川吉宗から11代徳川家斉までを扱います。						
授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：徳川吉宗（1） 第3回：徳川吉宗（2） 第4回：徳川吉宗（3） 第5回：徳川吉宗（4） 第6回：徳川家重（1） 第7回：徳川家重（2） 第8回：徳川家治（1） 第9回：徳川家治（2） 第10回：徳川家斉（1） 第11回：徳川家斉（2） 第12回：徳川家斉（3） 第13回：徳川家斉（4） 第14回：予備日 第15回：まとめ・授業アンケート 定期試験：なし						
成績評価の方法	e-alpsの課題（90%）、平常点（10%）の総合評価 日本近世史に関する新知見の理解度、歴史学的な思考の獲得度により総合的に評価する。 授業の趣旨をきちんと理解し、積極的に参加し、提出されたレポートの内容が正確かつ意欲的なものであれば「卓越している」と評価する。以上の項目すべてに関して妥当性が認められる場合は「やや上にある」、総合的に見て妥当性が認められる場合は「その水準にある」と評価する。						
成績評価の基準	日本史学の理解度、歴史学的思考の獲得度。						
事前事後学習の内容	事前にe-Alpsで配布するプリントを予習すること。 事後には、e-Alpsへの授業内容に関する課題を提出すること。 指示される参考文献により知識の確認をすること。						
履修上の注意	活字の古文書を読みます。事前に十分に予習をして授業に臨んで下さい。						
質問、相談への対応	オフィスアワー【水曜日12:10～13:00】に対応します。						
教科書	適宜指示します						
参考書	適宜指示します						